



甲子川鮎釣協力会などが行ったアユの稚魚放流

5月12日 【甲子川】

甲子川でアユの稚魚放流 ふるさとにアユ走る清流をいつまでも

甲子川でアユ稚魚の放流が行われました。アユの資源量の維持と、河川環境保全のため毎年行われているもので、甲子川鮎釣協力会、甲子地域会議、クボタ環境エンジニアリングの三者で実施し、250キログラム(約3万2,000尾)を放流しました。例年だと、解禁日には16～18センチほどに成長する見込みです。市内のアユ釣りは、甲子川、鵜住居川ともに7月6日に解禁される予定です。



思いを託すかまいし絆会議代表の皆さん

5月21日 【市長室】

かまいし絆会議 日赤大船渡市赤崎町林野火災義援金を寄託

市内小中学校の児童生徒で構成される「かまいし絆会議」代表の釜石中3年白野真心さん、岡本あいるさんが、各学校で集まった義援金412,376円を市長(日赤釜石市地区長)に託しました。白野さんは「震災の年に生まれた私たちもこれまで多くの支援をいただいた。困っている方々の力になりたい」と話しました。お預かりした募金は、日本赤十字社を通して被災者の生活支援に役立てられます。



釜石駅前広場に花を植えた皆さん

5月24日 【釜石駅前広場】

ボランティアの力で 釜石駅前広場を色鮮やかに

毎年恒例の釜石駅前広場の花植え作業が行われ、釜石市赤十字奉仕団、市内高校生、明治安田生命職員、新たに釜石国際外語大学校生などの約60人のボランティアが参加しました。マリーゴールド、ブルーサルビア、金魚草、なでしこ、ノースポールの5種約450株が植えられた花壇は、市の玄関口である釜石駅前に彩りを与え、訪れる人の目を楽しませています。



にっこ食堂でカレーライスを頬張る子どもたち

5月24日 【上平田ニュータウン集会所】

“にこ食”において！ 多世代交流の子ども食堂

平田地区の子どもたちと平田いきいきサークルの会員など、約40人が第5回平田にっこ食堂に参加し、お手玉を使ったゲームで遊んだり、食事を囲んでおしゃべりを楽しんだりと交流を深めました。この日のメニューはカツカレーライス、骨まで食べられるイワシの甘露煮、ワカメたっぷりのスープなどで、おいしそうに頬張る子どもたちを見て大人もほほを緩ませ、笑顔が集った1日となりました。

5月3日-4日 【サンフィッシュ釜石・釜石駅・シーブラザ釜石】

笑顔満開 釜石の春をまるごと楽しむ1日

かまいし春まつりが開催され、浜の産直市、タッチボール、毛ガニ釣り、子ども用電動カート乗り場、木工教室、キッチンカーなど、体験とグルメが盛りだくさんの2日間となりました。5月4日は、マグロの解体ショー、マグロ重量あてチャレンジが開催されました。迫力のマグロ解体ショーは大人も子どもも目を丸くして、大きな歓声を上げ、たくさんの笑顔があふれる1日となりました。



多くの見物客でにぎわったマグロの解体ショー

5月9日 【上中島こども園】

園児たちもノリノリ にっこ笑顔の3園合同音楽会

上中島こども園と神愛こども園、中妻子供の家保育園の3園、約90人の園児たちが集合し「すてきなおんがくかい」が開催されました。メゾソプラノ歌手の谷地畝晶子さんとピアノ奏者の阿部夕季恵さんが来園し「こいのぼり」「犬のおまわりさん」などを披露していただきました。上中島こども園の佐々木絢斗くん(5)は「たくさんのお友達と歌えて楽しかった」とはにかみました。



歌ったりリズムをとって楽しむ園児たち

5月11日 【平田町】

活気、熱意込め 11年ぶりに行われた「平田まつり」

待望の再開となった平田まつりが11年ぶりに開催され、神輿渡御や平田神楽・平田虎舞の奉納などで地域は活気に満ちました。住民の高齢化が進み、神輿の担ぎ手を集めるのは年々厳しくなる中、住民から開催を望む声があり、11年ぶりに復活を果たしました。漁港にはお祭り広場が設けられ、平田こども園の園児たちによる「ちびっこ虎舞」や唐丹町の桜舞太鼓などが繰り広げられ、見物客は心を躍らせました。



館山神社例大祭の神輿渡御で笑顔を見せる担ぎ手たち

5月11日 【橋野鉄鉱山インフォメーションセンター 他】

橋野鉄鉱山に笑顔あふれる 世界遺産登録10周年をお祝い

橋野鉄鉱山で八重桜まつりが開催され、訪れた人たちは餅まきや豚汁の振る舞い、高炉場跡のガイドツアーなどを楽しみました。橋野町振興協議会女性部が調理した豚汁のお振る舞いには、今年も長い列ができました。「橋野鉄鉱山世界遺産登録10周年、おめでとうございます」の掛け声を合図に約800個の餅がまかれ、子どもたちは大きく手を上げてまかれた餅をキャッチしていました。



大勢の人たちが楽しんだ餅まき